

## ライブラリの利用2(jQuery-Validation-Engine)

フォームのページを作成するにあたってバリデーション(入力項目のチェック)は必須である。

入力チェックに特化したjQuery プラグインがあるので活用してみよう。

(Tips)jQuery プラグインとは

jQuery の拡張機能を実装する仕組み。様々かつ膨大な jQuery プラグインが公開されているだけでなく、自作する事も可能。基本的には jQuery を使えるようにしておけば、容易に導入やカスタマイズが可能。これまで学んできた中にある「Lightbox」もjQuery プラグインの一つである。

今回利用するバリデーション機能のjQuery プラグインjQuery-Validation-Engine は、以下のような特徴がある。

- ①フォームをリアルタイムで入力チェック
- ②豊富なチェック方法
- ③エラーがあれば該当箇所までスクロール
- ④エラーメッセージが日本語に対応
- ⑤エラー表示のデザインが良く分かりやすい

例えば、以下の画面のような、入力チェックを表示させることが可能である。

The screenshot shows a web browser window with the title 'フォームのチェック' (Form Check). The page content is titled 'フォームチェック' (Form Check). There are several red error messages and highlighted sections:

- A red box at the top right says '\* 必須項目です' (Required item).
- A red box below the first input field says '\* 2 つ以上チェックしてください' (Check at least 2 items).
- A list of four checkboxes: 'チェック項目その1' (checked), 'チェック項目その2' (unchecked), 'チェック項目その3' (unchecked), and 'チェック項目その4' (unchecked).
- A red box below the list says '\* チェックしすぎです' (Checked too many times).
- A list of four checkboxes: 'チェック項目その1' (checked), 'チェック項目その2' (checked), 'チェック項目その3' (checked), and 'チェック項目その4' (unchecked).
- A red box below the list says '\* 選択してください' (Please select).
- A list of three radio buttons: 'チェック項目その1' (selected), 'チェック項目その2' (unchecked), and 'チェック項目その3' (unchecked).
- A '確認' (Confirm) button at the bottom.

それでは、順を追って実装していく。

①授業データフォルダから validationEngine.jquery.css を自 PC の css フォルダにコピーする。

※validationEngine.jquery.css は、バリデーション(入力項目のチェック)時のスタイルシートである。

②授業データフォルダから以下のファイルを自 PC の js フォルダにコピーする。

- ・jquery-3.4.1.min.js
- ・jquery-2.1.4.min.js
- ・jquery.validationEngine.js
- ・jquery.validationEngine.nonreload.js
- ・jquery.validationEngine-ja.js

(Tips)jquery-3.4.1.min.js に対応した validationEngine がない

バリデーション機能のjQueryプラグインを利用するにあたって、jquery-3.4.1.min.js に対応した validationEngine が発見できなかったため、jquery-2.1.4.min.js も読み込みを行っている。

③授業データフォルダから valiform0.html ファイルを自 PC にコピーし、内容を確認してみよう。

コピーしたファイルの位置によって、読み込むファイルのパスの位置に注意しよう。

なお、

	valiform0.html (head 内抜粋)
	<pre>&lt;html lang="ja"&gt; &lt;head&gt; &lt;meta charset="utf-8"&gt;   &lt;link href="css/validationEngine.jquery.css" rel="stylesheet"&gt;   &lt;script src="js/jquery-3.4.1.min.js"&gt;&lt;/script&gt;   &lt;script src="js/jquery-2.1.4.min.js"&gt;&lt;/script&gt;   &lt;script src="js/jquery.validationEngine.js"&gt;&lt;/script&gt;   &lt;script src="js/jquery.validationEngine.nonreload.js"&gt;&lt;/script&gt;   &lt;script src="js/jquery.validationEngine-ja.js"&gt;&lt;/script&gt;   &lt;title&gt;フォームのチェック&lt;/title&gt;</pre>

④バリデーションを有効にするため、以下の様に追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

なお、「#f1」は form の id 名である。

	valiform0.html (script 内抜粋)
	<pre>&lt;script type="text/javascript"&gt;   \$(function(){     jQuery("#f1").validationEngine();   }); &lt;/script&gt;</pre>

フォーム内のオブジェクトごとにバリデーションを設定する。

バリデーションを有効にするには、class に“バリデーション仕様”を入力する。

⑤ 名前入力項目にバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 1)
	<pre>&lt;label&gt;名前 &lt;input type="text" name="name" id="name" class="validate[required]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

必須項目とする場合は、class="validate[required]"と入力する。

⑥ メールアドレス入力項目にバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 2)
	<pre>&lt;label&gt;メールアドレス &lt;input type="text" name="email" id="email" class="validate[custom[email]]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

メールアドレスの項目をバリデーションする場合は、class="validate[custom[email]]"と入力する。

必須項目かつメールアドレス項目とする場合は、class="validate[required,custom[email]]"と入力する。

([]内を,(カンマ)で続ける)

⑦ 電話番号入力項目にバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 3)
	<pre>&lt;label&gt;電話番号 &lt;input type="text" name="tel" id="tel" class="validate[[custom[phone]]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

電話番号項目のバリデーションを有効とする場合は、class="validate[[custom[phone]]"と入力する。

⑧ URL 入力項目にバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 4)
	<pre>&lt;label&gt;URL &lt;input type="text" name="url" id="url" class="validate[[custom[url]]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

URL 項目のバリデーションを有効とする場合は、class=" validate[[custom[url]]"と入力する。



## ⑨パスワード入力項目にバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 5)
	<pre>&lt;label&gt;パスワードを 2 回入力してください&lt;br&gt; &lt;input type="password" name="pass1" id="pass1" class="validate[required]"&gt;&lt;br&gt; &lt;input type="password" name="pass2" id="pass2" class="validate[required,equals[pass1]]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

1 個目のパスワード項目のバリデーションを有効とする場合は、`validate[required]`と指定している。

また、2 個目のパスワード項目のバリデーションを有効とする場合 `validate[required,equals[pass1]]`と入力する。必須項目かつ 1 個目のパスワード入力と一致しているか調査している。

## ⑩文字入力項目の最大文字数・最小文字数のバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 6)
	<pre>&lt;label&gt;希望するアカウント名を 10 字以下で入力してください &lt;input type="text" name="aname" id="aname" class="validate[maxSize[10]]"&gt; &lt;/label&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt; &lt;td&gt;&lt;label&gt;希望するニックネームを 5 字以上で入力してください &lt;input type="text" name="nname" id="nname" class="validate[minSize[5]]"&gt; &lt;/label&gt;</pre>

文字入力項目の最大文字数を設定する場合は、`class="validate[maxSize[10]]"`とする。

また文字列入力項目の最小文字数を設定する場合は、`class="validate[minSize[5]]"`とする。

`maxSize[]`や `minsize[]`の `[]`内は、文字数を示す。

## ⑪文字入力項目で英数字のみ可とするバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

	valiform0.html (body 内抜粋その 7)
	<pre>&lt;tr&gt; &lt;td&gt;&lt;label&gt;名前の読みを英数字で入力して下さい &lt;input type="text" name="namey" id="namey" class="validate[custom[onlyLetterNumber]]"&gt; &lt;/label&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt;</pre>

英数字のみ可とする場合は、`class="validate[custom[onlyLetterNumber]]"`とする。

## ⑫文字入力項目の数字のみ可とするバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

valiform0.html (body 内抜粋その 8)
<pre>&lt;tr&gt; &lt;td&gt;&lt;label&gt;学籍番号を数値のみで入力して下さい &lt;input type="text" name="gno" id="gno" class="validate[custom[number]]"&gt; &lt;/label&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt;</pre>

数字のみ可とする場合は、class=validate[custom[number]]とする。

## ⑬チェックボックスにおけるチェックする個数を指定するバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

valiform0.html (body 内抜粋その 9)
<pre>&lt;tr&gt;&lt;td&gt; 2 つ以上選択して下さい&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check01" id="check1" value="check1" class="validate[minCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 1&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check01" id="check2" value="check2" class="validate[minCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 2&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check01" id="check3" value="check3" class="validate[minCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 3&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check01" id="check4" value="check4" class="validate[minCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 4&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;/td&gt;&lt;/tr&gt; &lt;tr&gt;&lt;td&gt; 2 つ以内選択して下さい&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check02" id="check5" value="check5" class="validate[maxCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 1&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check02" id="check6" value="check6" class="validate[maxCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 2&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check02" id="check7" value="check7" class="validate[maxCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 3&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="checkbox" name="check02" id="check8" value="check8" class="validate[maxCheckbox[2]]"&gt; チェック項目その 4&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;</pre>

最大チェック個数を指定する場合は、そのチェック項目の ID に、class="validate[maxCheckbox[2]]"とする。  
 最低チェック個数を指定する場合は、そのチェック項目の ID に、class="validate[minCheckbox[2]]"とする。  
 なお、[]内は、文字数を示す。



⑭チェックボックスにおける必須入力を指定するバリデーションチェックを加える。

バリデーションを有効にするため、以下のように追加する。⇒追加する部分は、反転されている部分

valiform0.html (body 内抜粋その 9)
<pre> 必ずいずれかをチェックしてください&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="radio" name="radio" id="radio1" value="radio1"                     class="validate[required]]"&gt;チェック項目その 1&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="radio" name="radio" id="radio2" value="radio2"                     class="validate[required]]"&gt;チェック項目その 2&lt;/label&gt;&lt;br&gt; &lt;label&gt;&lt;input type="radio" name="radio" id="radio3" value="radio3"                     class="validate[required]]"&gt;チェック項目その 3&lt;/label&gt;&lt;br&gt; </pre>

必須項目とする場合は、class="validate[required]"と入力する。

ここまで更新が出来たらブラウザで開いて確認してみよう。

#### 【課題 4】

これまで⑭までに追加した valiform0.html をもとに、以下の要件で作成・提出すること。

① ファイル名を、「課題 4\_クラス\_出席番号\_氏名.html」とすること。

(例：クラスが 1TB、出席番号が 1 番、氏名が○△□◇の場合、課題 4\_1TB\_01\_○△□◇.html)

② <h3></h3>内に「あなたのプロフィールを教えてください」と記載する。

③ 入力フォームとして、以下の項目・入力条件として作成する。

No.	入力項目 (label)	入力方法 (input type)	入力制約 (validate)	選択肢	必須/任意
1	名前	text	無し	(該当無し)	必須
2	メールアドレス	text	custom[email]	(該当無し)	必須
3	電話番号	text	custom[phone]	(該当無し)	必須
4	性別	radio	無し	男性, 女性, その他	必須
5	血液型	select	無し	A 型, B 型, O 型, AB 型, 不明	必須
6	趣味	checkbox	少なくとも 1 つ	読書, 旅行, カラオケ, 野球観戦, 散歩	入力制約のとおり
7	自己 PR	textarea	無し	(該当無し)	必須

(ヒント)

①select は以下のような記載方でバリデーションチェックが可能である。

```

<select name="セレクト例" class="validate[required]">
  <option value="n0">▼選択して下さい</option>
  <option value="n1">ひとつめ</option>
  <option value="n2">ふたつめ</option>
</select>

```

②textarea は以下のような記載方でバリデーションチェックが可能である。

```

<textarea name="例" class="validate[required]" cols="50" rows="5">
</textarea>

```